トリブバン大学
Tribhuvan University

ネパール連邦民主共和国

●学生 400,000人　●教職員 15,200人
ホームページ　http://www.tribhuvan-university.edu.np/
交流協定締結年月日：2010年11月2日　　主管学部：創造工学部

国際交流の特色

トリブバン大学は、ネパールで最初の大学として1959年に設立された。ネパール全土に60のキャンパスと616の附属施設を持つ、学生数約40万を擁するネパール最大の国立大学である。工学院、農学院、医学院、科学技術院、林学院、社会学部、経営学部、法学部、教育学部など38学部と4つの研究所を擁する総合大学である。セントラル・キャンパスと事務本部は首都カトマンズ市内の南西5キロメートルのキルティプルに位置する。

交流実績（平成３０年度～令和２年度）

年度 / 受入・派遣	H30	H31	R2
学生の受入	4	8	0
学生の派遣	2	0	0
研究者・職員の受入	2	8	0
研究者・職員の派遣	5	4	0
オンライン交流参加者（本学）			34
オンライン交流参加者（相手機関）			35

▲ 工学部協定校訪問の様子

教員からの声

世界の屋根ヒマラヤの中央部にあるネパールは、美しい山々に囲まれた農業国ですが、毎年のように土砂災害と洪水によって大きな被害を受けています。また、2015年には首都カトマンズ周辺地域が大地震に襲われ、甚大な被害が発生しました。その際には香川大学の皆様からの暖かい義援金を学長に届けると共に、共同で災害調査及び復興支援を行いました。ヒマラヤの厳しい自然条件と共生し、持続可能な開発を行うには、自然科学、土木・建築技術、公衆衛生、農業と農村支援、環境保全、観光などの産業の振興、法整備といった様々な分野を含む総合的な研究が不可欠です。ネパールの課題解決策を一緒に探りませんか？

創造工学部教授　　長谷川修一

学生からの声

2015年にネパールで発生した地震では数多くの建築物が倒壊し、その中でも首都カトマンズにおける王宮周辺では歴史的建造物が甚大な被害を被りました。煉瓦造と木造の混構造を主体とするネパールの歴史的建造物の調査を行うため、私は研究室の一員としてネパールを訪れました。現地調査では、建物の構造性能の検証を行うため振動計測を実施しました。日本の木造建築物とは異なる歴史的建造物や現地の文化などに触れることができ、私自身にとって大変貴重な経験となりました。今後は、トリブバン大学の実験室で材料実験を実施する予定です。皆さんも一度、ネパールへ行ってみませんか？

2015年 派遣学生　奥廣晴香